

中村憲剛引退・市民栄誉賞を贈呈

(等々力陸上競技場が写っています)

川崎フロンターレ18年を貫いた中村憲剛選手の新たな旅立ちに向けたセレモニーが開かれました。

等々力陸上競技場を埋め尽くす大勢のサポーターが見守る中、数々の地域貢献活動を率先して行ってきた中村憲剛選手をたたえ、福田紀彦(ふくだのりひこ)川崎市長から、歴代3人目となる市民栄誉賞が贈呈されました。

続いて川崎フロンターレの全選手が登壇し優勝を報告。

チームを代表し小林(こばやし)悠(ゆう)選手が憲剛選手にメッセージを送りました。

家族を代表して、長男の龍剛(りゅうご)君はお父さんに宛てた手紙を朗読。

親交のある著名人も会場に駆け付けました。

(憲剛選手)「ほんとに…最高のプロサッカー選手生活でした。川崎フロンターレに入れて、ほんとによかった。みんなに会えてよかったです。」